

平成23年6月10日

運転士が列車を運転中に居眠りをしていたことについて

運転士が、運転中に居眠りをしていたことが判明しましたので、お知らせします。

1. 概 況

6月8日(水)、札幌駅7時50分発新千歳空港行き 快速エアポート76号の運転士が運転中に居眠りをしていたという指摘を、当日の8日午前中にお客様からいただき、その後9日(木)には映像が送られてきました。本人に確認したところ、当列車の島松駅通過後から恵庭駅到着前まで、うつらうつらしていた状態で運転していたことが判明しました。

2. 対 策

これまで、管理者や指導員による添乗指導などにより運転士の執務態度などを指導してきましたが、今回の事象に鑑み、添乗指導強化を行う他、個々人の休養管理の指導に努めてまいります。

また、6月11日(土)及び12日(日)において、社長以下会社幹部による全道の運転士及び車掌の在籍する職場の緊急点検を実施します。

社長会見の要旨については別紙をご参照ください。

(別 紙)

会 見 要 旨

5月27日、石勝線で発生した列車脱線炎上事故につきまして、会社発足以来最大の事故との認識のもと、全社を挙げて対策に取り組んでいる最中、6月8日、「快速エアポート」の運転士が居眠り運転をしていたという事象が発覚しました。

前回の事故発生以降、失われた信頼の回復に全力で取り組んでいる最中に、大惨事になりかねない事象が発生したことにつきまして、会社責任者としてお詫びのしようもございません。

常日頃、職務の重要性を訴え、緊張感をもって日常業務に当たるように呼び掛けてまいりましたが、誠に残念であり、心からお詫び申し上げます。

資料にございますように、6月8日、札幌7時50分発新千歳空港行き「快速エアポート76号」の運転士が運転中に居眠りしていたというご指摘を、お客様からいただくとともに、映像をお送りいただきました。運転士本人に確認したところ、当列車の島松駅通過直後あたりから恵庭駅到着前までうつらうつらしていたという状態で運転していたことが判明しました。

これまで管理者や指導員による添乗指導などにより、運転士の執務態度などを指導してまいりましたが、今回の事象に鑑み、添乗強化を行うほか、個々人の休養管理の指導にも努めてまいります。また、6月11日・12日におきまして、私をはじめ会社幹部が運転士及び車掌の在籍する職場に出向き、当社の置かれている危機的状況を認識し、安全を最優先することなどの重要性について、直接指導してまいります。

ご利用いただいているお客様に対し、お詫び申し上げますとともに、当社が安全を最優先する会社として再スタートできるように、先頭に立って臨んでいく所存です。

この度はたいへん申し訳ございませんでした。

北海道旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 中島尚俊